

# 大名みえ子です

〒319-1112 東海村村松 2401-2

電話・FAX 029-284-0761

E-mail toukai@oona-mieko.info

## 議会一般 質問から

10月12日の一般質問の中から今号では、**子どもの甲状腺超音波検診の結果と今後の検診について**ご報告します。

紙面の都合上、ポイントのみのご報告になります。ご了承ください。



**大名** 福島第一原発事故による住民の健康への不安の声に基づき、子どもの甲状腺検診が3年の間において2巡した。検診結果はそれぞれ公表中。村は「この検診で福島原発事故との因果関係を調査するわけではない」とのことだが、実際に事故で放射能が放出されての検診なので、そもそも長期にわたる継続検診で健康状況を見守ることが重要。検査の結果の特徴、今後の検診実施への考えは。

**福祉部長** 2回目検診結果の特徴は、のう胞や結節等、軽度の所見が見られるものの、精密検査は必要ないとの判定が受診者全体の約54%で、1回目の検診と比較して約22%増加している。この増加については、甲状腺は年齢の経過とともに何らかの所見の割合が高くなる傾向にあるため、2回目検診受診者の年齢が1回目と比較して高くなっていることが要因の一つであると考えている。

今後の検診については、一応昨年度の検診をもって、当初予定された集団検診は終了。しかしながら経過観察との判定が約半数おり、村としては今後のフォロー体制等について庁内及び甲状腺超音波検診事業検討委員会内で十分に検討を重ねた上で結論を出したい。

**大名** 福島県の甲状腺超音波検査の考え方に学び、本村の子どもたちも今後の成長の中での変化等を追跡していくため、当初の計画を変更し、継続して検査を行ってはどうか。

**福祉部長** 3年間隔で2回検診を実施したことから、震災当時から経年変化の確認という点でも一定の成果があったと考えている。今後のフォロー体制も含め、今後の検診事業のあり方については十分に検討したい。



## 議員定数及び報酬に関する調査特別委員会が定数削減を確認

最大会派及び公明党は、「前任期議会が、議員定数と報酬についてどうするか結論を出せなかったのので、今期議会では早々から検討すべき」と、昨年9月議会で提案し、「議員定数及び報酬に関する調査特別委員会（委員長：飛田静幸議員）」を強引に設置しました。

委員会は、「住民がどう考えているのか意見聴取して結論を出す」として、東海村商工会役員会、ハーモニー東海18期生、自治会連合会の方々のご意見をお聞きする場を設定してきました。委員会が団体を指名して、ある意味無理矢理「議員定数と報酬について意見を述べてくれ」と要求したものです。意見を求められて驚き「答えようがない」という方もおられたほどです。決して1つの方向ではありません。今年5月2日に商工会役員会、7月11日にハーモニー東海18期生、9月21日に自治会連合会でした。

10月24日の委員会で、委員それぞれが意見を出し合った結果、定数を減らすことが確認されたとのことです。「何人減らすのか、また減らしたことによって生まれた報酬相当額の使い道をどうするか」について、11月28日の委員会で行うということです。

3団体の方々からご意見を伺ったらそれが「住民の意思」と言えるのでしょうか。まるでごまかしです。最大会派と公明党が狙う定数削減を押し通すための既成事実を利用しただけのことです。本当に酷い!!